

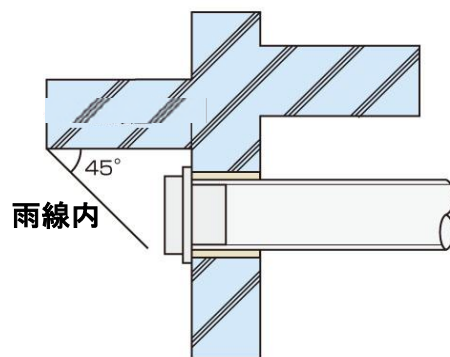
施工段階		外装		10	設備工事：			シート番号	
電気	空調	衛生	その他		外壁面設備器具取付け（1）			10-2	
-	○	-	○						

ポイント

■外壁に設置するベントキャップ

従来、給気口の形状は設置場所によって選定されおり、一般的には雨線内であれば平型グリル、妻側では深型フードが採用されています。

しかし、雨線内であっても側面からの雨水の浸入のおそれがある場所への設置や、庇の短いサービスバルコニーなどへの設置では、深型フードなどの雨水の浸入が抑えられる形状の製品を選定する必要があります。また、妻側への設置は深型フードより耐雨性能が高い超深型フードの選定を考える必要があります。



低 ←←← 耐雨性能

→→→ 高



平型グリル



丸型フード



深型フード



深型フード
(上下開口タイプ)



超深型フード

先輩アドバイス

- ・ベントキャップの種類は多種多様なので取り付け場所に適したものとしてください。
- ・ベントキャップの種類によっては、圧損が変わるので、機器の静圧に影響を与えます。
- ・FD付の場合は点検できるか確認します。
- ・ベントキャップ廻りのシール工事は、建築工事に依頼します。(責任所在明確化)
- ・防虫網取付の場合、給気用は目詰まりを起こしやすいので点検を考慮した計画としましょう。

チェック項目

- 設置場所は雨線内・雨線外のどちらですか。
- 設置場所は高層階ですか。

失敗すると...

- ・雨水の浸入により水損が発生します。

共通管理項目	合理化 省力化	施工性 向上	品質・性能 向上	工期 短縮・圧縮	コスト削減 (材料)	コスト削減 (労務)	設備 先行工事	工事区分 見直し	責任所在 明確化
		-	-	○	-	-	-	-	-
備考	参考文献：						制定	2019年3月1日	
	参考メーカー：						改訂	2023年3月1日	